

24 急性心筋梗塞の患者における病院到着から90分以内のPCI施行率

プロセス評価

指標の解説

- PCI(経皮的冠動脈形成術)は灌流療法の一つで、狭くなった血管をカテーテルやステントを使用して広げる治療法である。
- 急性心筋梗塞の治療においては、発症後できるかぎり速やかに再灌流療法(閉塞した冠動脈の血流を再開させる治療)を行うことが救命のために非常に重要とされている。
- 本指標では、急性心筋梗塞で入院後24時間以内にPCIを受けた患者のうち、「K5461経皮的冠動脈形成術(急性心筋梗塞に対するもの)」及び「K5491経皮的冠動脈ステント留置術(急性心筋梗塞に対するもの)」を算定している患者の割合を示している。当該手術料を算定するためには、「症状発現後12時間以内に来院し、来院からバルーンカテーテルによる責任病変の再開通までの時間が90分以内であること」という要件を満たしている必要があり、本数値が高いほど、急性心筋梗塞の患者に対し迅速な治療を行っている」と評価できる。

分子:「K5461経皮的冠動脈形成術(急性心筋梗塞に対するもの)」または「K5491経皮的冠動脈ステント留置術(急性心筋梗塞に対するもの)」を算定している患者数

分母:急性心筋梗塞の患者で入院後24時間以内にPCIを施行している患者数

